

前立腺全摘術クリニカルパスによるバリエーション分析と改善アプローチ

1. 研究の対象

2012年1月1日から2020年3月31日に当院で前立腺癌に対する前立腺全摘術を実施し、前立腺全摘術クリニカルパスを適用し治療を受けられた方

2. 研究目的・方法

済生会熊本病院において前立腺全摘術クリニカルパスを運用し、蓄積されたデータをもとに患者の治療プロセスやアウトカムに影響する要因を分析し、前立腺全摘術後管理の課題と改善策を見いだす。

研究期間：倫理委員会承認日から2021年12月31日

症例対象期間：2012年1月1日から2020年3月31日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：ADL、疼痛、食事摂取、合併症発症、入院期間、転帰 等

試料：該当なし

4. 外部への試料・情報の提供

済生会熊本病院へのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、各病院の研究責任者が保管・管理します。

5. 研究組織

済生会熊本病院 副院長 町田 二郎

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

済生会熊本病院 医療情報部

医療情報分析室 室長 小妻 幸男

住所：熊本市南区近見 5 丁目 3 番 1 号

電話：096-351-8000(代)

研究責任者：済生会熊本病院 副院長 町田 二郎

研究代表者：済生会熊本病院 副院長 町田 二郎

以上